



もんぶかくだいじんしょう
文部科学大臣賞

「ようこそ、ようこそ」

ちばけんもばらしりつはぎわら
千葉県茂原市立萩原小学校三年

あだちしょうた
安達 翔大

夏休みに、鳥とり県米子市から、ひいおばあちゃん、茂原にひっこしてきました。ひいおばあちゃんは、九十五才だ。かみの毛はまっ白だけど、ひさしぶりに会ったひいおばあちゃんは、とつても元気でびっくりした。

お父さんが米子からひいおばあちゃんをつれて帰ってきた時に、みんなでごはんをいっしょに食べた。ぼくは、大すきなまぐろどん、ひいおばあちゃんは、天ぷらでい食を食べた。

ひいおばあちゃんは、ごはんを食べる前に手を合わせて

「ようこそ、ようこそ。」

とおいのりをしてから食べはじめた。ぼくはふしぎに思っ

「ようこそ、ようこそって何のおいのり?」

と聞いたら、

「むかしは、せんそうで、白いごはんは今みたいに毎日食べれなくて、お米は大切なたから物だったんだよ。だからこうして食べる前に、ようこそおばあちゃんのところに来てくれてありがとう。いただきますって言うてから食べるんだよ。」

とおしえてくれました。

ぼくは、毎日あたりまえのように白いごはんを食べてたから、ちよつとはずかしくなってモジモジしてたたら、お父さんが、「みんなでおいのりしよう。」って言ったから「ようこそ、ようこそ。」って大きな声で言ったらみんなにわらわられて、よけいにはずかしくなりました。

ひいおばあちゃんは、ごはんを一つぶものこさな

いできれいにペロツと食べて、

「あーおいしかった。ようこそ、ようこそ。」

とまた言いました。

ぼくも、一つぶものこさないで、

「あーおいしかった。ようこそ、ようこそ。」

とまねをしたら、またみんなにわらわれた。ぼくはこれからも毎日大すきな白いごはんが食べられるようにおいのりします。

「ようこそ、ようこそ。」